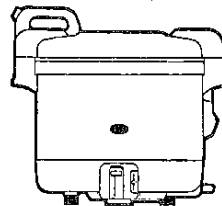


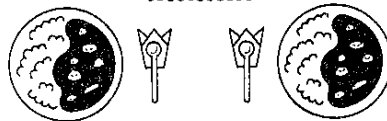
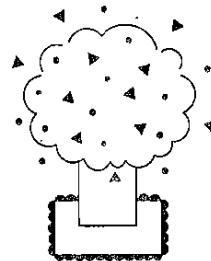
ガス炊飯電子ジャー

品番 11-752



取扱説明書

このたびはガス炊飯電子ジャーをお求めいただきまして、ありがとうございます。



●正しく安全にお使いいただくためにこの「取扱説明書」を必ず最初から順番にお読みいただき、よく理解して下さるようお願いいたします。また、この「取扱説明書」をいつでもすぐ取り出せるところに大切に保管しておいてください。

●この「取扱説明書」に付かれている内容以外ではご使用にならないでください。

●「取扱説明書」を紛失された場合は、裏表紙に記載のお近くの大阪ガスまでお問い合わせください。

各部のなまえ.....	5
安全に正しくお使いいただくために.....	6
必ずお守りください.....	7
設置について.....	8
使いかた.....	9
故障かな?と思ったら.....	10
点検とお手入れ.....	11
保管とアフターサービス.....	12
仕様.....	13
	14

本社ガスビルサービスセンター・支社所在地および電話番号

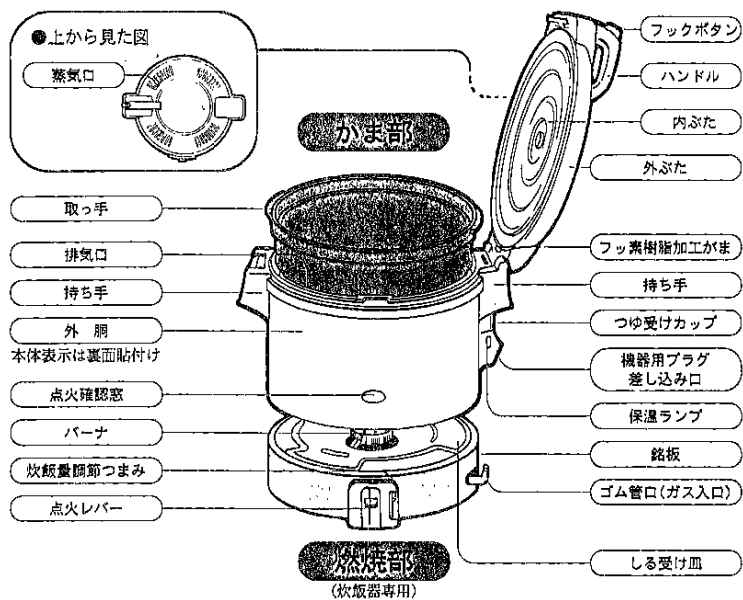
大阪支社	☎550	大阪市西区千代崎3-2-95	☎大阪	06(586)3200
南部支社	☎590	堺市住吉橋町2-2-19	☎堺	0722(38)1131
北部支社	☎569	高槻市藤の里町39-6	☎高槻	0726(71)0361
東部支社	☎578	東大阪市福藪2-3-17	☎河内	0729(62)1131
兵庫事業本部	☎650	神戸市中央区東川崎町1-8-2	☎神戸	078(360)3100
京都支社	☎600	京都市下京区中堂寺粟田町1	☎京都	075(311)7391
奈良支社	☎631	奈良市学園北2-4-1	☎奈良	0742(44)1111
和歌山支社	☎640	和歌山市本町1-5	☎和歌山	0734(31)2481
兵庫西支社	☎670	姫路市神屋町4-8	☎姫路	0792(65)2221
豊岡支社	☎668	豊岡市三坂町6-5-7	☎豊岡	0796(23)2221
滋賀支社	☎525	草津市西大路町5-3-4	☎草津	0775(62)5311
滋賀東支社	☎522	彦根市大東町12-11	☎彦根	0749(22)3131
長浜営業センター	☎526	長浜市南呉服町3-4	☎長浜	0749(62)7171
本社ガスビルサービスセンター	☎541	大阪市中央区平野町4-1-2	☎大阪	06(202)2221

大阪ガス株式会社

おねがい

ガスくさいときは、ガス栓を閉め、窓を全開してから（火気に注意して）大阪ガス支社、サービスショップにご連絡ください。

各部のなまえ



安全に正しくお使いいただくために

製品を正しくお使いいただくためや、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためにこの取扱説明書および製品への表示では、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

	△危険 この表示を無視して誤った取扱をすると、使用者が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じる場合が想定されることを表しています。
	△警告 この表示を無視して誤った取扱をすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合を表しています。
	△注意 この表示を無視して誤った取扱をすると、使用者が傷害を負う可能性が想定される場合、および物的損害のみの発生が想定される場合を表しています。

絵表示について次のような意味があります。

- 一般的な禁止
- 火気禁止
- 接触禁止
- 分解禁止
- 電源プラグを抜く
- 必ず行う

必ずお守りください

△危険

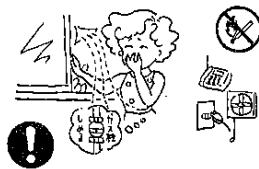
■ガス漏れ時の処置

ガス漏れに気付いたときは、全ての処置が終わるまでの間、絶対に火を付けたり、電気器具(換気扇その他)のスイッチの入・切や電源プラグの抜き差しおよび周辺の電話を使用しない

→炎や火花で引火し爆発事故を起こすことがあります。

※万一ガス漏れに気付いたら、

- ①すぐにガス栓を閉める
- ②窓や戸を開ける
- ③お買い上げの販売店か大阪ガスまで連絡する



△警告

■使用ガスおよび電源について

ご家庭のガスの種類と機器の銘板(燃焼部右側面に貼付け)に表示されているガスの種類が合っているか確かめる合っていないときは使用しない

*転倒時にも必ず確認してください

→ガスが合っていないままご使用になると、火災や不完全燃焼、やけどなどの原因になります。

電源はAC-100Vを使用する

*お分かりにならない場合または合っていない場合はお買い上げの販売店か大阪ガスまでご連絡ください。

〈例〉

型式名
都市ガス用
13A
ガス消費量
製造年・月・製造番号・107



■火災予防

使用中、使用後は機器を移動させない

→転倒すると火災、やけどの原因になります。

機器の周囲に可燃物(カーテン、新聞紙、紙袋など)や引火物(スプレー缶など)を置かない、近づけない

*機器の下に新聞紙やビニールシートなどの可燃物を敷かないでください。

→火災の原因になります。スプレー缶の場合は熱でスプレー缶の圧力が上がり爆発するおそれがあります。

炊飯中、蒸気口・排気口の上にタオル、ふきんなどをのせない

→火災や不完全燃焼の原因になります。

機器の周囲ではガソリン、ベンジン、スプレーなど引火のおそれのあるものを使用しない

→火災の原因になります。

火を付けたまま機器から絶対にはなれない

→火災の原因になります。



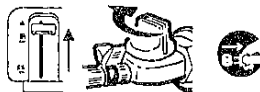
安全に正しくお使いいただくために 各部のなまえ

必ずお守りください

警告

異常時の処置

- ①異常な燃焼、臭気、異常音を感じられた場合は、消火操作してガス栓を閉め、電源コードを抜いた後「故障かな?と思ったら」(10ページ)に従う
- ②地震、火災などの緊急の際は、自分自身の身の安全を確かめてから、あわてずに消火操作する



注意

ガス事故防止

- ゴム管はガス用ゴム管(検査合格またはJISマーク入り)を使う
- 古い(ひび割れ、さし込み口のゆるい)ゴム管やビニール管は使わない
- ガス漏れの原因になります。
- 炊飯後は消火を確かめ、外出・就寝時にはガス栓を閉める



換気にご注意

- 締め切った部屋で長時間使用しない
- 使用中は窓を開けるか換気扇を回す
- 一酸化炭素中毒の原因になります。



用途について

- 炊飯以外の用途には使わない
- 過熱・異常燃焼による焼損や火災の原因になります。
- *この機器は炊飯専用です。炭、煉炭おこしや焼物、汁物調理など、炊飯以外の用途には使用しないでください。



やけどについて

- 使用中や使用直後は操作部以外は触らない
- 機器本体とその周辺が熱くなるためやけどをするおそれがあります。
- *特に小さいお子様がいる家庭では注意し、お子様の手の届かないところに設置してください。



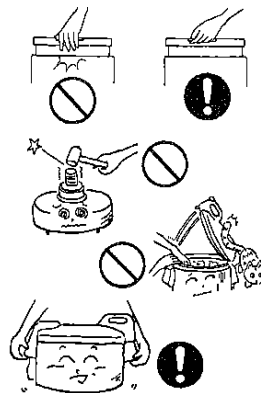
- 使用中は蒸気口・排気口に手や顔を近づけない
- 蒸気や排気物でやけどをするおそれがあります。



注意

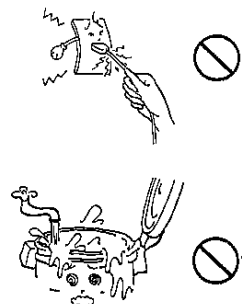
使用上の注意

- かまをセットするときは、取っ手を持つ
- かまと外胴に手をはさまれ、ケガをすることがあります。
- 感熱部に強いショックやキズを与えない
- 感熱部が故障する原因となります。
- ふたを開けて作業をしているときは、ふたが倒れてこないように気を付ける
- ふたと外胴に手をはさまれ、ケガをすることがあります。
- 炊飯中はふたの開閉をしない
- 途中消火したり、ご飯がうまく炊けない場合があります。
- かま部を移動させるときは、左右の持ち手を持って運ぶ
- ハンドルは持たない
- ハンドルはふたの開閉しかできません。
- 炊飯直後かま部を移動させる場合は、ビニールクロス、畳等の上に直接置かない
- かまの底部が高温になっているため、火災の原因になります。



電気事故防止

- 電源プラグをぬらしたり、ぬれた手でプラグに触れない
- 感電のおそれがあります。
- 電源コードを無理に折り曲げたり、引っ張ったりしない
- 断線や発火のおそれがあります。
- 電源プラグの差し込みは確実に行う
- プラグにほこりが付いていたり差し込みがゆるいと感電や火災の原因になります。
- 電源コードや電源プラグが傷んだ場合は使用を中止し、お買い上げの販売店かお近くの大阪ガスまで修理を依頼する
- 感電や発火のおそれがあります。
- 機器に水をかけない
- 感電や機器の故障の原因になります。



分解禁止

- お手入れが必要など以外には絶対に分解しない
- 故障や事故の原因となります。

おねがい

- この機器用の付属品あるいは指定のもの以外は使用しないでください。
- 雷により一時的な過電流で電子部品を損傷することがありますので、雷が発生したときは、すみやかに電源プラグを抜いてください。



設置について

同梱部品・ガス種・設置場所の確認

1. 同梱部品

- ①箱から機器を取り出し、あて紙、梱包部材やテープを取り除く
 ②機器本体(1ページ参照)や他の同梱部品の確認をする
- 保証書
 - 取扱説明書
 - 乾電池1個
 - 電源コード

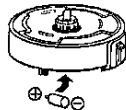
乾電池のセット

単1(1.5V)1個を+が左になるように一から先に入れる
 乾電池の寿命は通常の使いかたで約1年です。

おねがい

付属の乾電池は工場出荷時に納められたもので、自己放電のため寿命が短くなっている場合があります。

*点火時のパチパチする音が遅くなったら交換の時期です。



2. ガス種

- ①ご家庭のガスの種類と機器の銘板に表示されているガスの種類が合っているか確かめる
 ②合っていない場合は設置をやめて、お買い上げの販売店か大阪ガスまで連絡する

3. 設置場所

一酸化炭素中毒や火災、やけどの原因となりますので正しく設置してください。

警告

次の条件を満たしている場所をお選びください。

- 換気が良い
- 落下物の危険がない
- 風が吹き込まない
- 水平で安定している
- 周囲に可燃物がない
- 水や熱がかからない
- 機器上に洗濯器等がない



防火措置

各地の火災予防条例にしたがって防火措置を行ってください。

警告

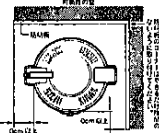
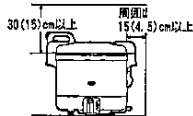
ステンレス板や薄いタイルなどの不燃材を可燃性の壁に直接張り付けた場合でも、下記1、2の防火措置を必ず行う
 →伝熱により長年の間に可燃物が炭化し、火災になることがあります。
 *設置後に、機器の周囲の改装をする場合も設置基準をお守りください。

①可燃物(壁、棚など)から十分離して設置する

周囲の可燃物より15cm以上、上方は30cm以上離します。

②①の条件を満たせない場合は防熱板を取り付ける

金属以外の厚さ3mm以上の不燃材を図のように取り付けてください。
 不燃材を取り付けた場合は()内の寸法に従ってください。



ゴム管と電源コードの接続

注意

- 折れ、ねじれ、引っ張りなどないように
- 機器の上や下を通さない
- 電源コードのタコ足配線は絶対にしない
- 接続口に汚れやごみがないように
- ゴム管の継ぎ足しや二又分岐は絶対にしない
- 他の熱源などの高温部に触れない
- 正しく接続されないとガス漏れや火災の原因になります。



*用意するもの

φ9.5mmガス用ゴム管(新品)1本とゴム管止め2個
 (都市ガス用とLPガス用のゴム管があります。都市ガス用をお選びください。)



①ゴム管を機器に触れないように適切な長さで切る

②両方のゴム管口の赤い線までゴム管を差し込み、
 ゴム管止めで止める

③ガス栓を開け接続部からガスの臭いがしないことを確かめ、ガス栓を閉める

④炊飯後保温する場合は、電源コード(付属品)の電源プラグをコンセントに、
 機器用プラグを機器用プラグ差し込み口に接続する

*保温中以外は電源スイッチを「切」にしておきます。



ガスコンセント接続の場合

- *ガスコードを接続する場合は、ガス栓側がカチットプラグになっていないと接続できません。
 従来のガス栓で使用する場合は、別売のホースロック用プラグが必要です。
- *ガスコードは必ずガス炊飯器用をお使いください。
- *ガスコードの長さは2m以下にしてください。
- *ガスコードは13A専用です。

ガス機器側の接続

- ①上図のように、まず別売の器具用プラグを機器のゴム管差し込み口に取り付ける
 ②次にガスコードの器具用ソケットを器具用プラグに「カチッ」と音がするまで差し込む
 (器具用プラグ梱包台紙の裏面に記載してある取扱説明書に従ってください。)

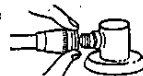


ガス栓側の接続

①ガス栓を開けるときの



②ガス栓を閉めるときの



コンセント継手を
 「カチッ」と音がするまで確実に差し込む

- コンセント継手を差し込むとガスが開きます。

- コンセント継手のすべりリング(白色)を手前に引くとガス栓が閉まります。

使いかた

お米の準備

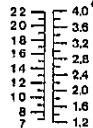
洗米



こみ、ぬかなどを洗い流しながら早くときあげる

一度水に漬けたお米は掛けやすくなります。砕け米・粉米などが混じって炊飯されると風味を損ね、炊きむら、着色の原因となります。

水加減



<例>
16合炊く場合は、かまにお米を入れた後、16の目盛のところまで水を入れます。かまは水平にして合わせてください。

かまの内側の水位目盛を基準に、お米の量と同じ目盛のところまで水を入れる

- かまの内側の水位目盛は右側が「ℓ(リットル)」、左側が「合」を示します。
- かまの目盛は目安です。新米・古米または固め、やわらかめなどの好みなどによって水を加減してください。特にやわらかくしたいときでも、水増しの量は1目盛までにしてください。
- 長時間保温するときは、少し多めの水加減で炊飯するとご飯の乾燥が目立ちません。

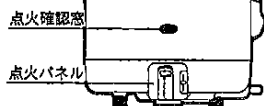
おねがい

表示以外の炊飯量以上および以下の炊飯はしないでください。ふきこぼれたり、炊きむらの原因となります。

- 水加減後、30分以上水に漬けておくとおいしく炊けます。

各部のセット

外胴



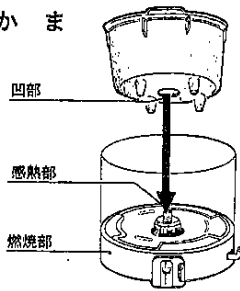
外胴を燃焼部にのせる

- 外胴は点火確認窓が、正面の点火パネルの上になるようにのせます。

おねがい

外胴が正しくのっていないと、点火操作ができなかったり、早切れしたり、こげる原因となります。

かま



かま底の凹部と燃焼部の感熱部がかみ合うように、かまを正しくのせる

警告

かまを燃焼部にのせるとき、燃焼部にしゃもじ等の異物がないことを確認する
→異常燃焼や火災の原因となります。

注意

かまを燃焼部にのせるとき、凹部や感熱部に水・米粒などがついていないことを確認する
→正常に炊飯できないことがあります。

ふたの開閉

フックボタン

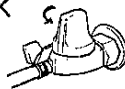


内ふたが取り付けであることを確認し、ハンドルを持って静かに外ふたを押さえ込む

- “カチッ”と音がして閉まります。
- フックボタンを指で押えながらハンドルを持ち上げればふたが開きます。

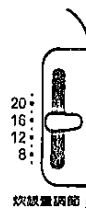
炊飯

ガス栓を開く



点火レバーが「止」の位置にあることを確認した後、ガス栓を全開にする

炊飯量調節(火力調節)

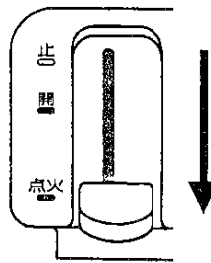


炊飯量に応じて、炊飯量調節つまみをセットする

- 炊飯量調節つまみの表示は炊飯量(合)を表していますので目安としてください。

- 室温・水温・ガス種や米の品質などによっても多少異なります。
- 赤飯・おこわ・混ぜご飯等ではうまく炊けない場合があります。
- 少量炊飯時に、お好みにより水量を増すときは、炊飯量調節つまみを目盛表示より多めにしてください。

点火



- ①点火レバーをゆっくりいっぱいまで押し、そのまま数秒間押し続ける

- 点火レバーはいっぱいまで押しないと点火しません。
- パチパチと音がして点火します。

- ②手を離しても点火していることを、点火確認窓から確認する
- 使用中もときどき燃焼を確認してください。

注意

万一点火しないときは、点火レバーを「止」の位置までもどした後、一旦かまをはずして点火操作を行う火が着くことを確認したらかまをセットし直し、あらためて点火操作を行う
→ガスを逃がさない、爆発点火ややけどの原因になります。

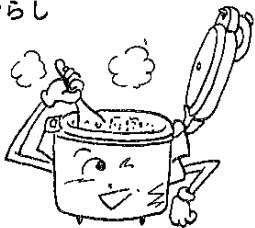
おねがい

- 初めて使うときやしばらく使わなかったときなど点火しにくい場合があります。ゴム管内に空気が入っているためです。繰り返して点火操作してください。
- 手を離すと消火する場合は押し時間の不足です。点火レバーをもどして再度点火操作し、押し時間を長くしてください。

使いかた

使いかた

炊きあがりむらし

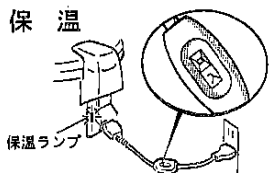


- ①ご飯が炊きあがると、自動的に点火レバーが「止」の位置にもどり、消火する
- ②消火を確認後、ガス栓を開める
- ③炊きあがり後は必ずそのまま15分程むらす

- むらし終わるまではふたを開けないでください。
- むらした後、ご飯をほぐしながらよくかき混ぜてください。余分な水分が逃げ、ご飯がおいしくなります。炊飯後そのまま保温する場合は必ず行ってください。

炊きあがりのご飯のかま底にうっすらとキツネ色程度のおこげのような色がつくことがあります。これはメーラード反応とよばれ、ご飯がこぼれしくより一層おいしくいただけます。

保温



- ①電源コードの電源スイッチを「入」にする
- 保温ランプが点灯し、保温状態となります。

おねがい

保温は必ず炊飯終了後に行ってください。特に炊飯前に保温状態になると、洗米した米がふやけておいしく炊けなくなります。

- ②保温終了後は電源スイッチを「切」にする

おいしく保温するには

こんな保温はやめましょう

- 黄ばみ、におい、パサツキの原因になります。
- ★12時間以上の保温
 - ★冷えたご飯の保温
 - ★保温中のご飯の上に冷えたご飯、炊きたてのご飯をのせての保温
 - ★しゃもじを入れたままの保温
 - ★おかゆ・混ぜご飯・赤飯などの保温
 - ★風のあたる所での保温 →保温効果が悪くなります。

少量のご飯を保温するときは

少量のご飯の保温はなるべくさけてください。やむをえず少量を保温するときは、中央部に山のように寄せてください。



ふたは確実に閉める

ふたをしっかり閉じなかったり、かまの周囲や内ふたにご飯粒をつけないでください。蒸気が逃げてうまく保温できない原因になります。



長時間保温するときは

少しやわらかめに(少し多めの水加減で)炊飯してください。ご飯の乾燥が目立ちません。

停電したときは

保温中停電したときは短時間なら問題ありませんが、長時間になってご飯が冷えてしまった場合は、再度保温しないでください。

故障かな?と思ったら

故障かな?と思ったら、次のことをお調べください。下記の現象に当てはまらないとき、また処理をしてもなお異常のあるときは、お買い上げの販売店かお近くの大阪ガスマスでご連絡ください。

現象	原因	処置方法	参照ページ
点火しない 点火しにくい 使用中消火する	ガス栓の開き不十分	ガス栓を全開にする	8
	ゴム管の折れ曲がり、つぶれ	ゴム管の折れ曲がりを直す	6
	ゴム管の接続不十分	ゴム管を確実に接続する	6
	バーナ炎口の水滴や汚れによる目づまり	バーナ炎口のお手入れをする	12
	ゴム管内に空気が残っている	点火操作を繰り返す	8
	点火操作が不適切	点火レバーを押し時間を長くする	8
	炎検出部・電極が水ぬれしたり汚れている	お手入れをする	12
	かまのセット不良	正しくセットする	7
	乾電池が消耗している	新しい乾電池と交換する	5
黄色の炎で燃える 炎が安定しない 異常な音をたてて燃える	バーナ炎口の水滴や汚れによる目づまり	お手入れをする	12
ガスのいやな臭いがする	ゴム管の接続不十分 ゴム管のひび割れ、穴あき	ゴム管を確実に接続する 新しいゴム管と交換する	6 6
ご飯がうまく炊けない 自動消火しない 早切れる	機器が傾いている かまのセット不良	正しく設置する 正しくセットする	5 7
ふきこぼれが多い ご飯がこげる	凹部(かま底)、感熱部が汚れている ふた(内・外)が確実に閉めていない	お手入れをする 確実に閉める	11・12 8
炊きむらがある ご飯がふやける	水加減、火力調節が不適切 むらしをしていない 炊飯前に保温状態にした	「使いかた」に従う 炊き上がり後15分ほどむらす 保温は炊飯終了後に行う	7・8 9 9
うまく保温できない ご飯が冷める ご飯が乾燥する いやな臭いがつく	電源スイッチを「入」にしていない	電源スイッチを「入」にする	9
	停電していた	ご飯が冷えた場合は再度保温しない	9
	ふた(内・外)を確実に閉めていない	確実に閉める	9
	12時間以上保温した	12時間以上の保温はしない	9
	ご飯が冷えてから保温した	ご飯が冷えた場合は再度保温しない	9
	しゃもじを入れたまま保温した	しゃもじは必ず取り出してから保温する	9
	かま・内ふたが汚れている	よく洗う(煮沸する)	11・12

立消え安全装置が作動したときの処置方法

立消え安全装置とは風やふきこぼれなどで炎が消えたとき、自動的にガスを止める装置です。

■消火に気付いたとき

すぐに点火レバーを「止」の位置にもどしてください。炎が消えてからガスが止まるまでしばらく時間がかかります。

■再点火するとき

周囲にガスがなくなるのを待ってから点火操作してください。

点検とお手入れ

- 点検とお手入れはガス栓を開め、機器が冷えてから行ってください。
- 機器を安全・快適にお使いいただくために、日常の点検とお手入れは必ず行ってください。
- 機器の故障や異常を見つけたときは、お買い上げの販売店がお近くの大阪ガスまでご連絡ください。
- 安全にお使いいただくために定期的に点検を受けられることをおすすめします。(有料)

点検のポイント

点検は常時行ってください。

1. 機器の回りに可燃物等はありませんか？
機器の回りに可燃物や障害物が無いようにしてください。(2、5ページ参照)
2. 各部品は正しくセットされていますか？
外胴、かま、内ぶた、つゆ受けカップが正しくセットされているか確認してください。(7、8ページ参照)
3. ゴム管は正しく接続されていますか？古くなっていませんか？
赤い線までしっかり差し込み、ゴム管止めで止めてください。古くなるたびひ割れしたり、差し込み口がゆるくなります。早めに取り替えてください。(6ページ参照)
4. 乾電池が消耗していませんか？ 点火時パチパチする音が遅くなったら交換の時期です。(5ページ参照)
5. 電源コードが傷んでいませんか？ 傷んでいる場合は修理を依頼してください。(4ページ参照)
6. ガス臭くありませんか？
ガス栓を開け、ゴム管口の接続部からガスの臭いがしないことを確かめてください。(10ページ参照)
7. 汚れていませんか？ ご使用のつどお手入れしてください。(11、12ページ参照)



お手入れのしかた



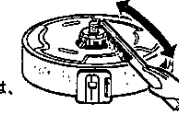

- お手入れの際は手袋をするなどして、ケガのないように気を付けてください。
- 機器や取り外した部品は落とさないように気を付けてください。ケガや故障の原因になります。
- お手入れの後は各部品正しくセットされているか確認してください。

お手入れには
台所用中性洗剤
をお使いください

おねがい

印刷・塗装面にはみがき粉・スチールウールなどは使わないでください。表面がキズ付きます。中性洗剤以外の洗剤、シンナー・ベンジンあるいはレンジクリーナーなどのアルカリ性洗剤は塗装がはがれるおそれがあります。

内ぶた	外ぶたより取りはずし、水洗いする ●取りはずすときは、内ぶたを持って、一方の手で外ぶたをささえ、手前に引くようにして取りはずしてください。 
つゆ受けカップ	つゆ受けカップにたったつゆはそのつど捨て、水洗いした後、乾いた布で水気をふき取る ●取りはずすとき つゆ受けカップを手前に引っ張ってください。簡単にはがれます。 ●取り付けるとき みぞに合わせ奥まで押し込んでください。 

かま 凹部(かま底)	ご使用後は米粒、おねば等を洗い落とし、つねに水切りよく保存しておいてください ●特に混ぜご飯、炊き込みご飯等の後のお手入れや水切りは十分行ってください。 ●凹部の汚れはふき取ってください。 ●おねがい キズを付けないでください。  ●フッ素樹脂加工がまについて ●しゃもじはプラスチック製または木製のものを使用し、かまを洗うときはやわらかいスポンジをお使いください。(スチールウール、たわし、みがき粉などは使用しないでください) ●かまの中で食器や野菜などを洗うことはおやめください。 ●酢などの酸の強いものを使用することはおやめください。 ●使っているうちにピンホール(針先程度の穴)やほく離が発生しても当初はフッ素樹脂の性能には変わりありません。しかし、著しくはく離が進行してご使用に不便をきたすようなときは販売店にて新しいかまをお買い求めください。 ●いやな臭いが出たときは かまにコップ1杯分(約200ml)の水を入れ、炊飯の要領で点火し自動消火するまで煮沸してください。かまが冷えた後水洗いして、水気をふき取ってください。
外ぶた 外胴 しる受け	水気をしぼった布に、台所用中性洗剤を含ませてふき取る ●おねがい 燃焼部内を水でぬらさないでください。
感熱部	感熱部の頭部が汚れたときは、感熱部に片手を添えて水気を固くしぼった布で汚れをふき取る ●おねがい キズを付けないでください。 
バーナ炎口 炎検出部・電極	炎検出部・電極の取付位置を動かしたり、キズを付けないでください。 炎がふぞろいになったときや汚れのひどいときは、バーナをブラシで掃除する ●バーナ炎口がつかると、燃焼不良となります。 ●掃除した後は、正常に燃焼することを確認してください。 汚れや水分が付いたときは、やわらかい布でふき取る ●汚れや水分が付いていると点火しにくくなります。  

点検とお手入れ

保管とアフターサービス

■保管（長期間使わないとき）

- ①ガス栓を閉め、ゴム管をはずす
- ②ごみ・ほこりが入らないようにビニールやテープ等でゴム管口をふさぐ
- ③汚れを取り除く（11～12ページ参照）
- ④乾電池を取りはずす
- ⑤箱またはビニール袋に入れて、湿気やほこりの少ないところに保管する

■アフターサービスについて

故障の修理申し込み

- まず10ページ「故障かな?と思ったら」をご確認のうえ、なお異常のあるときはお買い上げの販売店かお近くの大阪ガスにご連絡ください。
 - アフターサービスをお申しつけのときは次のことをお知らせください。
1. ご住所・お名前・電話番号・道順（付近の目印等）
 2. 品番……11-752

（下のようラベルが機器の左面下部に貼り付けてあります。）

(N) 11-752

大阪ガス株式会社

3. 現象……できるだけ詳しく
4. 訪問ご希望日

転居される場合

- ガスの種類には都市ガスとLPガスとがあり、都市ガスにはガスグループの区分があります。ガスの種類、ガスグループの区分が異なる地域へ転居される場合には、部品の交換や調整が必要となりますので、転居先のガスの種類、ガスグループの区分を確認のうえ、お買い上げの販売店かお近くの大阪ガスにご連絡ください。
- この場合、調整・改造に要する費用は保証期間内でも有料となります。
- *ただし、ガスの種類によっては調整できない場合もあります。

補修用性能部品の最低保有期間について

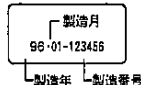
- 無料修理期間経過後の修理については、お買い上げの販売店かお近くの大阪ガスにご相談ください。修理によって性能が維持できる場合は有料修理します。
- 補修用性能部品の最低保有期間は製造打切後6年です。その後の修理は、補修用性能部品がなくて、修理ができない場合がありますのでご了承ください。

保証期間について

- このガス炊飯電子ジャーには保証書がついています。
- 保証書に記載のようにガス炊飯電子ジャーの故障について修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。
- 保証書を紛失されると、無料保証期間内でも修理費をいただくことがありますので、この取扱説明書とともに大切に保管してください。

製造年月目印について

製造年月は本体右側面貼付けの銘板でお確かめください。



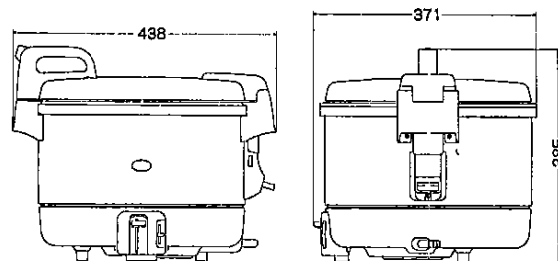
仕様

品番	11-752	
型式名	PR-4100S	
種類	ガス炊飯電子ジャー	
点火方式	連続放電点火	
外形寸法（高さ×幅×奥行）	385×438×371mm	
質量（本体）	8.8kg	
炊飯量	最小	1.2ℓ（6.7合）
	最大	4.0ℓ（22.2合）
ガス接続	φ9.5mmガス用ゴム管	
電源	AC100V 60Hz（家庭用電源）	
最大消費電力	140W	
電源コードの長さ	1.5m	
安全装置	立消え安全装置	

使用ガス・ガスグループ	ガス消費量 kW (kcal/h)	
都市ガス用	13A	2.79 (2400)

◎本仕様は改良のためお知らせせずに変更することもあります。

■外形寸法図



保管とアフターサービス
仕様